媛ラボ事例共有資料

■事業名：伊予かすり会館リニューアル　事業
■メンバー：小林・Sherry（バイリンガル YouTuber）、松本（韓国語・中国語）
■目的
・ITC を活用し、伊予かすりをはじめ愛媛県内の様々な伝統工芸品をより楽しめるスポットとして、外国人観光も含めた来訪者の集客を拡大する。

■事業内容
・外国人観光客へのおもてなしとして「ビーコン」を採用するほか YouTube を利用した館内紹介を実施。
・愛媛の伝統工芸品の魅力が再発見できる「ArtLabo KASURI」を 2 階にオープン。
・体験メニューや個人客向けのランチ開発。

■事業の経緯
・来訪者に対して適切な館内案内がしたかった。
→　専用アプリと連動する Bluetooth 信号を発信する発信機器「ビーコン」を採用。受付でインストールしたオリジナルアプリから日本語・英語・韓国語・中国語を選択すると、館内 9 か所のポイントでプッシュ通知による詳細な説明が得られる。
・インバウンド観光客への対応策として、伊予絣の説明や体験メニューの手順説明付き動画を作成したかった。
→　砥部町在住のバイリンガル YouTuber によって YouTube 動画を制作。本人が英語で出演し、日本語で字幕を付ける。伊予絣や館内の案内に加え、藍染めなどの体験メニュー、ランチの新メニューを紹介する動画となった。
・空きスペースとなっていた館内 2 階部分をギャラリーとして活用したかった。
→　伊予絣を基調に、今治タオルとの織物コラボレーションを実現した住空間、周桑和紙の照明や水引細工、砥部焼の展示販売を開始。
・来訪者が気軽に参加できる体験メニューや近年増加傾向にある個人客を対象としたランチを提供したかった。
→体験メニューとして本藍染め体験、裂き織体験、媛だるま、キャンドルなどを用意。瀬戸内鯛を使用したランチや藍色ドリンクを開発。

■参考イメージ

民芸伊予かすり会館２階
ArtLabo KASURI

民芸伊予かすり会館 HP
体験メニュー

ビーコンアプリ